



アフターコロナに持続可能な会社となるため 全社改革を着実に進めています。

代表取締役 社長 榎尾 和宏

第2四半期連結累計期間の業績

売上高	1,039億円	前年同期比 71%
営業利益	42億円	前年同期比 25%
経常利益	46億円	前年同期比 29%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	52億円	前年同期比 41%

時計事業の急回復



Q 2020年度上期の業績を教えてください。

現在、まだ世界はコロナ禍の最中にあり、多くの企業が業績に影響を受けています。当社も今期は第1四半期までその影響を受けましたが、アフターコロナの市場環境の変化を見据えて以前より進めてきた各事業での施策や構造改革の効果が第2四半期から顕在化し、早いペースでの業績の回復につながりました。

特に時計事業では中国が牽引し売上が急回復しています。G-SHOCKはグローバルで第2四半期には売上高が前年同期比95%に達しました。教育関数事業でも、授業が再開された欧州では関数電卓の売上が戻ってきています。収益改善事業では早期に構造改革を完遂した楽器が、巣ごもり需要もあり営業利益率9%にまで改善しました。

Q 時計事業の進捗状況は？

世界に多くのファンを持つG-SHOCKは、コロナ禍でも需要は手堅く、アフターコロナを見据えた施策の効果も出て、非常に早いペースでの回復基調にあります。特に中国ではライフスタイルの変化や消費の多様化を見据えて以前よりEC比率の拡大を進め、WEBサイトやSNSでファンと直接つながり、きめ細やかなコミュ

ニケーションをとってきました。その効果がコロナ禍を脱した同国で、顕著に表れています。

G-SHOCKのブランドを活かした新領域として発売したエクササイズ向けウォッチ「G-SQUAD」も好調です。

Q 教育関連事業の進捗状況は？

授業が再開された地域での需要回復をとらえ、GAKUHAN活動を展開しています。オンライン授業でも使えるソフトウェアの関数電卓や、数学学習ツール「ClassPad.net」を無償提供し、教育現場で使っていただき、世界的に進む教育の電子化に向かって、着実に浸透を進めています。

Q 収益改善事業の進捗状況は？

楽器は構造改革を予定より早く完遂しました。巣ごもり需要によって、楽器演奏を経験した方々が再び楽器を手にする機会が増えており、これをとらえたSlim&Smartモデルの販売拡大を進めています。

プロジェクトも、小型・高輝度の特徴を活かし、ビルなどの建物での投映に使う組み込み型などの新領域への転換を進めます。

Q 新規事業の進捗状況は？

ターゲットとして定めたドメインで、パートナーとの取り組みを着々と進めています。スポーツ・健康のドメインでは、株式会社アシックスと共同で準備しているランナー向けソリューションの概要を、2021年1月に発表する予定です。メディカルのドメインでは、当社のダーモカメラやダーモスコープが、国内の皮膚科医の10%に受け入れられています。

Q アフターコロナを見据えた取り組みの進捗状況は？

来期に一切の懸念なくスタートするための改革は、着実に進ん

でいます。

社員がより創造的に働くための仕組みづくりも行っています。働く場所を選べる在宅勤務や、勤務時間帯を選べる時差出勤を導入しました。創造的なオフィスの在り方を社員が議論するプロジェクトもスタートしました。創造的な風土づくりのために経営と社員が会社の未来について対話する活動も始めています。

株主様とのコミュニケーションにも積極的に取り組みます。6月に開催した株主総会は、ご自宅でもご覧いただけるようオンライン配信いたしました。個人投資家向けのオンライン説明会も視野に入れています。ステークホルダーの皆様との対話により、経営をより良くしてまいります。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当社は業績に連動した株主還元という方針のもと、経営体質の強化を確実に進めます。安定配当を基本としており、今回の中間配当額は22円50銭の据え置きといたします。

これまでの実績で築いた強固な財務基盤のもと、アフターコロナに向けての改革は着実に進んでいます。今後も株主の皆様のご期待に沿えるよう、経営の革新に全力を尽くしてまいります。

配当金の推移

